

耳鳴りや聴力の低下に 「滋腎通耳湯（じじんつうじょう）」

耳の異常は「腎」の衰え

年を重ねるとともに聴力が衰えて耳が聞こえにくくなったり、頭の中で「ジージー」や「キーンキーン」といった不快な音が鳴る耳鳴りがいつまでも続いたり、時にめまいを訴えたりする方がよくご相談に見えられます。

漢方ではこれらの症状を「腎（じん）の衰えが主な原因と考えています。腎は「腎精（じんせい）、生命エネルギー」を蓄え、成長・発育・生殖機能を維持させていますが耳の機能を調整しているのも腎なのです。



若い頃は腎がよく働き、腎精が十分に蓄えられているので生殖機能も正常で耳も良く聞こえます。老化により腎精が少なくなると成長発育が止まって老化現象が始まり、生殖機能も減退し、耳が遠くなるなどの症状が現れます。老化によって腎の働き

が低下し、老化現象などが現れてきた状態を「腎虚（じんきょ）」と呼びます。

腎虚による耳の主な症状には

・「ジージー」と蝉の鳴き声のような低音域の耳鳴り

・慢性化した耳鳴り

・耳が聞こえにくい（進行性）

などの特徴がみられます。

もう一つの原因として、夜型の生活で

いつも睡眠が不足していたり、ストレスで神経をすり減らす生活をしている

方にみられる「肝（かん）の異常」も

考えられます。「肝の異常」による耳

の主な症状には

・金属音のような「キーンキーン」と

いう高音域の耳鳴り

・耳が塞がったような感じがする

・ストレスによって症状が悪化する

などの特徴があります。

この両者を言い方を換えて大きく分けると老化による耳鳴りとストレスによる耳鳴りに分けられます。この両者に効果のある処方として「滋腎通耳湯

（じじんつうじょう）」があります。

当帰（トウキ）・地黄（ジオウ）

センキユウ・芍薬（シヤクヤク）とい

う腎を補う生薬をベースとし、知母（

チモ）・黄柏（オウバク）・柴胡（サイ

イコ）・黄芩（オウゴン）で頭部の熱

を冷まし、ビャクシ・香附子（コウブ

シ）で気のめぐりをよくすることで耳

鳴りや難聴を改善します。検査をしても異常が見られなかったり、なかなか治らずに他人には聞こえない不快な音や耳の閉塞感を長年我慢されている方が多くいらっしゃると思います。このような症状でお困りの方はぜひ一度「滋腎通耳湯」をお試しください。

・コタロー漢方製薬「滋腎通耳湯」
九〇包入り（三〇日分）
一〇、五〇〇円＋税



「滋腎通耳湯」についての相談は店頭だけでなく、お電話でも受け付けております

ゆがの薬局 健康セミナー

テーマ「もの忘れと認知症の違い」その認知症の予防方法

日時：2014年11月21日（金）午後2時～3時30分

場所：浜公民館

主催：（有）ゆがの薬局 協賛：アサヒフードアンドヘルスケア

お問い合わせはゆがの薬局 0558-34-0150まで